

第3学年A組 図画工作科学習誘導案

教諭 杉下 大輔

単元 切ってはって3A島のカラフル生物

(本校教育課程 図画工作科単元 第8項 11月上旬～11月下旬 6時間)

「単元の問題」を提起する根拠

○ 子どもの興味・関心の実態

本学級の子どもは、アニメーションやテレビゲームなどを通して、想像上の生物や商業的に生み出されたキャラクターなどの情報に触れる中で、お気に入りのものをイラストに表したり、友達と好きなキャラクターの特徴を話したりすることを楽しんでいる。そこで、コラージュ作家のエリック・カールの絵本を教室の図画工作科コーナーに設置すると「このクジャク、カラフルできれいだよ。」などとコラージュで表現された生物に興味をもって見ていた。そのような子どもに、「どのようにして表しているのかな。」と問うと、「絵の具を使っているよね。」「ローラーを使って塗っているよね。」と答えたり、「紙を貼り付けているのかな。やってみたいね。」と表現への思いをもったりするなど、カラフルな生物の姿やそれらを表す材料、表し方に関心を高めている。

○ 子どもの能力の実態

本学級の子どもは、第3学年「絵具と水のハーモニー」「にじみの世界」などの学習で絵の具を使い、思い付いた形や模様、風景などを色鮮やかに表す経験をした。そのような活動を通して知識及び技能については、思いに合った形や色などの感じが分かることやそれを基に表したいことや表し方を考えて表すことができている。しかし、思いに合うように形や色を吟味して表したり、そのような表現のよさを実感したりするまでには至っていない。また、思考力、判断力、表現力等については、思い付いたものを自分の思いに合うように表し方を考えることはできているが、納得のいく自分らしい形や色のイメージをねり上げることや表し方を学び合って高め合うまでには至っていない。このようなことは、発想や構想、表していく段階において具体的表現に結びつくイメージの量や質が十分でないことや表したいものの思考的構築ができていることが原因だと考える。

○ 社会からの要求

AIやIoTなどの技術の進展により社会が大きく変化し、芸術の分野においてもAIが過去の著名な作家の作品データを基に新たな画像を生成するようになっている。そのような中、人が自分の思いを造形的に表現することの意味や価値が改めて問われ、人が創造的に表したものに人工的ではないよさを見いだす状況が起きている。世界の企業や教育機関において人が働かせる創造性に注目し、その育成を図る動きが加速している中、図画工作科の目標の一つである創造的に発想や構想をする力を育成することは、現代社会の課題解決に 대응するものである。また、この時期の子どもは柔軟に物事を捉え、自由な発想ができる発達段階にあり、本単元を通して形や色などとかかわり、創造的に発想や構想をする力を育むことは、子どもの楽しく豊かな生活をつくりだしていく上でも意義深いと考える。

○ 教科系統上の要求

第1・2学年においては、体験したことから感じたこと、関心のあることから想像したことなどを基に表したいことを発想し、好きな形や色を試したり選んだりして自分の思いを表してきた。第3・4学年では、これまでの体験や関心のあることに加え、見たり触ったりしたことを基に表したいことを発想し、形や色を考えたり、描画材を選んだりして思いに合う表し方を考え表現していく。そこで、薄手の紙に絵の具で色を重ねたカラフルペーパー（色紙）を切ったり貼ったりしてカラフル生物（生物）を表現する活動や鑑賞し合う活動から、造形的な視点を基に発想や構想の力を高めていく。このような学習は第5・6学年において、材料の特徴や形、色などの構成の美しさなどを表現の手掛かりとして、表したい主題を発想し、その表し方や計画を考えていくことへと発展していく。

単元の問題

カラフル生物を、カラフルペーパーを切ってはって表そう。

- 3A島の卵から生まれたカラフル生物を考えよう。
- カラフルペーパーを切ってはって、カラフル生物を表そう。
- 表したカラフル生物をしょうかいし合おう。

目 標

<知識及び技能>

- 生物の写真や材料を見たり触ったりして、思い浮かべた生物を表すための形や色の感じを理解することができるとともに、前学年まではさみやのりなどの用具についての経験を生かし、手を十分に働かせ、表したい生物に合わせて表し方を工夫して表すことができる。

<思考力、判断力、表現力等>

- 生物の写真や材料などを見たり触ったりして、生物の形や色などを想像し、表したい生物を見付けたり、材料の色や模様などを生かした表し方を考えたり、自他の作品の形や色、材料、表し方などのちがいがらよさや面白さを味わい、自分の見方や考え方を広げたりすることができる。

<学びに向かう力、人間性等>

- 想像を膨らませ、ふしぎな生物を考えたり、表したりする活動に進んで取り組もうとしている。

誘 導 の 着 眼

【着眼1】表したい生物のイメージを確かにしていく状況づくり

表したい生物のイメージを思い浮かべたり、生物を具体的な形や色などのイメージで構成したりして、納得のいく生物のイメージをもつことができるように、以下のような状況づくりを工夫する。

場面	手立て	ねらいとするイメージに関する様相
見いだす (問題をもつ)	<ul style="list-style-type: none"> ○ エリック・カールのコラージュ作品と出会い、その作品の形や色についての気付きを出し合うことから自作の色紙を使った作品づくりに思いをもつ活動を設定する。 ○ 3A島に住む生物のお話を聞いたり、校庭の自然の中に隠れている形や色が不思議な卵を見付けたりして、生物について思い付いたことを伝え合う活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不思議な卵から生まれるカラフルな生物を表したいという思いと、それを表す材料に色紙の色や質感などが適していると感じて材料として使いたいという思いを抱くことから、表したい生物のおぼろげなイメージを抱く。
挑む (発想・構想)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見付けた卵の中から自分の表したい生物が生まれてくる卵を選び、生物のイメージを絵に表したり、友達と伝え合ったりする活動を設定する。 ○ 切り分けた色紙を構成して表現を試す場や思いに合った色紙を選択できる共同の材料コーナー、卵を見付けた場所の様子が分かる写真を設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同じ卵から想像した形や色などがちがう生物を伝え合い、生物のイメージを広げたり、表したい生物の形や色のイメージを具体的にしたりしている。 ○ 切り分けた色紙で表現を試したり、思いに合った色紙を選んだりして、形や色の組合せで多様な生物が表現できることの面白さに気付き、表したい生物のイメージを広げている。
挑む (表す)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表している作品を紹介したり、表現のアドバイスをし合ったりする交流スペースを教室の中央に設けることや、共通の卵を選んだ子どもをグルーピングして生物の形や色を共有したり、比較したりする活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表している生物の形や色、その組合せなどが納得のいく表したい生物のイメージに近付き、具体的な表現に表れる明瞭なイメージをねり上げている。

【着眼2】発想を広げ、深める学び合い

造形表現につながるイメージを構築したり更新したりして、発想の広がりや深まりを実感したり、表していることへの納得感を得たりすることができるように、表したい生物と表し方について「ちがいの自覚」「不十分さの打開」の二つの視点から以下のように問い、子どもの学び合いを生み出す。

問いの視点	教師の発問等
ちがいの自覚	<p style="text-align: right;">※働きかける対象は少人数、全体など適宜工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ニワトリなどの見慣れた卵と不思議な卵の形や色のちがいが生物の形や色の表し方にどのように表れているかを問う。「不思議な卵とふつうの卵、生まれる生物の形や色は、どのようにちがいますか。」 ○ 同じ卵のグループの中で生物やその形、色がちがうことや発想の過程を問う。「同じ卵だと、表す生物や形、色は同じですか。」「どこがちがいますか。」「卵のどのようなところから、この生物を考えたのですか。」
不十分さの 打開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えた生物のイメージを他の生物とのかかわりから進化させたり合体したりする生成モデルを提示して、モデル生物の変化について感じたことを問う。「このように進化した生物はどうですか。」「どうして進化した生物の方がよいと感じたのですか。」「どのように表したいですか。」「友達とお互いの生物の進化や合体について話し合ってみましょう。」

展開計画（総時間数 6 時間）

	主な学習活動	教師のねらいとその手立て	評価の規準と観点
見 い だ す	1 色紙と他の材料を比較したり、参考作品と出合ったりして、学習問題を設定する。 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「色紙を使って作品を表したいな。」という思いをもつことができるように、他の素材と比較して気付いたこと、やりたいことを出し合う活動を設定する。 ○ 「色紙を切ったり貼ったりして生物を表したいな。」という思いや活動のイメージをもつことができるように、参考作品と出合い、色紙を使ったコラージュ表現を味わい、感じたことを伝え合う活動を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の表したい生物を、色紙を使って作りだしたいという思いを高めている。 (主体的に学習に取り組む態度)
	中心問題 3 A 島に住むカラフル生物を、カラフルペーパーを切ってはって表そう。		
挑 む	2 色紙を生かした表し方を試したり、表したい生物を考えたりする。 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の思いに合った表したい生物を見付けることができるように、参考作品のパーツから生物を再構成する活動や実際の生物の写真や 3 A 島の地図、色紙を見たり触ったりする活動を設定し、見付けた生物を問う。 ○ 発想を広げたり質を高めたりして表したい生物のイメージを造形的な視点でもつことができるように、「材料の選択や生かし方のちがい」の視点から発問を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 材料を見たり触ったりしながらイメージを膨らませ、表したい生物を見付けている。 (思考・判断・表現) ○ 材料に触れて形や色を選んだりして、表したい生物に合った形や色などの感じを理解している。(知識・技能)
	分析問題 2 カラフルペーパーを切ってはって、3 A 島のカラフル生物を表そう。		
挑 む	3 表したい生物を色紙で表す。 < 1 / 3 本時 > 3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表したい生物のイメージを思い浮かべたり、生物を具体的な形や色などのイメージで構成したりして、納得のいく生物のイメージをもつことができるように、表している作品を紹介したり表現のアドバイスをし合ったりする交流スペースを教室の中央に設けたり、共通の卵を選んだ子どもをグループピングして生物の形や色を共有したり、比較したりする活動を設定する。 ○ 納得のいく生物のイメージをねり上げながら表現に生かすことができるように、表したい生物や表し方について「ちがいの自覚」「不十分さの打開」の視点から発想の質を高める発問を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の思いに合った作品になるように表し方を考えている。 (思考・判断・表現) ○ 自分の思いに合った作品になるように表し方を工夫して表現している。 (知識・技能)
	分析問題 3 表した生物をかざって、3 A 島のカラフル生物をしょうかいし合おう。		
ふ り 返 る	4 表した生物を見合い、表現のよさを伝え合って活動をふり返り、単元をまとめる。 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自他の作品や表現の造形的なよさや面白さを感じ取ることができるように、思いに合った場所に作品を展示して鑑賞し、感じたことを伝え合ったり、単元を通じた活動写真を提示して活動のよさをふり返ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自他の作品のよさや面白さを感じ取り自分の見方や考え方を広げている。 (思考・判断・表現)

(1) 主眼

表している生物を友達と見合ったり、表し方について形や色、その組合せなどの視点で感じたことを伝えたりして、自分の表したい生物のイメージを納得のいくものにしながら作品に表す活動を通して、自分の思いに合った作品になるように表し方を考えることができるようにする。








(2) 本時における学びを愉しむ子どもの姿

自分の思いに合うように生物を表現したいという意識をもち、必要に応じて参考作品や友達の表し方などにかかわり、表したい生物やその表し方のイメージを広げたり深めたりして表現し、つくりだす喜びを感じる姿。【こだわる】【かかわる】

(3) 準備

色紙、水彩紙（台紙）、のり、はさみ、タブレット端末、3A島の地図、生物の写真

(4) 展開

学習活動と子どもの意識	誘導上の留意点（○）と評価（※）
<p>1 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 前時を想起し、めあてを確認する。</p> <div data-bbox="167 728 742 840" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>3A島の草原に暮らす虹色の馬のような生物を考えたよ。きれいな色で表したいな。どんな形や色を組み合わせようかな。</p>  </div> <div data-bbox="383 851 1260 907" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;"> <p>カラフル生物を、色紙を切ったりはったりして表そう。</p> </div> <p>(2) 思いに合った生物をつくりだす活動の見通しをもつ。</p> <p>2 生物を表したり、表している生物を見合ったりする。</p> <div data-bbox="167 1142 742 1288" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>絵に表した生物を色紙でただ表すのではなく、進化した生物を色紙で表現したいな。同じ卵から生まれた友達の生物と合体したらどうなるかな。</p>  </div> <div data-bbox="167 1299 742 1377" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Aさんのように進化した生物はどうですか。</p>  </div> <div data-bbox="167 1400 742 1512" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私は森に住んでいる空を飛ぶ虹色の馬に進化させたよ。色の並びや形を試してみても、このように表してしてみたよ。</p>  </div> <div data-bbox="167 1534 742 1612" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>なるほど、空を飛ぶイメージから羽や色を工夫したんだね。</p>  </div> <div data-bbox="167 1657 742 1825" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>海に暮らすクラゲのような生物を表したよ。友達にアドバイスをもらったり、友達のアイデアと合体したりしてやって、最初のイメージよりも楽しくて不思議な生物になってきたよ。</p>  </div> <p>3 本時の学習をふり返り、次時の学習への見通しをもつ。</p> <div data-bbox="167 1960 742 2049" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まだ、自分の表したい生物が全部できていないからもっと形や色を工夫して表したいな。友達の表し方もたくさん見てみたいな。</p>  </div>	<p>○ 活動の見通しと本時のめあてを確かめることができるように、前時の活動を想起した後今日したいことを尋ね、めあてを確認する。</p> <p>○ 思いに合った生物を色紙で表していく活動の見通しをもつことができるように、自他のイメージスケッチを基に色紙で生物を表していく生成過程図を提示し、生物のイメージを広げる発問を行う。</p> <p>○ 表したい生物のイメージを思い浮かべたり、生物を具体的な形や色などのイメージで構成したりして、納得のいく生物のイメージをもつことができるように、表している作品を紹介したり、表現のアドバイスをし合ったりする交流スペースを教室の中央に設けることや、共通の卵を選んだ子どもをグルーピングして生物の形や色を共有したり、比較したりする活動を設定する。【着眼1】</p> <p>○ 納得のいく生物のイメージをねり上げながら表現に生かすことができるように、表したい生物や表し方について「ちがいの自覚」「不十分さの打開」の視点から発想の質を高める発問を行う。【着眼2】</p> <p>○ 表したい生物のイメージを、色紙を使った表現につなげることができるように、表したいイメージと表している生物の形や色などが結び付いていることを価値付けて周囲に広げたり、イメージと表現が結び付くように個別の支援をしたりする。</p> <p>※ 自分の思いに合った作品になるように表し方を考えている。</p> <p>○ 表したい思いを実現してきたことを自覚したり、次時への思いをもったりすることができるように、本時に表現できたことや活動を、ICT機器を使って視覚的にふり返る活動を設定する。</p>